

箕面ロータリークラブ

2021-22  
**WEEKLY  
BULLETIN**



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ  
国際ロータリー第 2660 地区 2021-22 年度ガバナー 吉川秀隆

【2021-22 年度】 会長 浦 収 幹事 山本貴雄 広報・会報委員長 佐藤 修

事務局・例会場:〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel:072-724-2781 Fax:072-724-1786  
E-mail:mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP:http://mino-orc.net/ 例会日:毎週木曜日 18:30~

◆今週の例会プログラム◆

2021年8月26日(木) 第2484回例会  
卓話:

情報規定研修委員長 黄堂泰昌 会員  
社会奉仕委員長 西脇 悟 会員

◆次回例会プログラム◆

2021年9月2日(木) 第2485回例会  
ガバナー公式訪問:

RI2660 地区ガバナー 吉川 秀隆 様

◆前回例会◆

2021年8月19日(第2483回例会)

(出席報告)

会員数 27名 出席者 16名

出席率 64%

ゲスト ガバナー補佐 延原健二様  
ガバナー補佐エレクト 神寶敏夫様

◆会長挨拶◆

浦 収

箕面ロータリークラブ初のズーム例会となりました。こうして沢山の方がお集まりいただきましたことに感謝申し上げます。

本日は、さまざまな「過去最高」についてお話させていただきます。まず良い話としては、東京オリンピックが終了いたしました、日本人の大活躍がありました。獲得メダル数が過去最高となり、大変喜ばしいニュースとなりました。また、一方でコロナの感染者数が過去最高となり、感染拡大の勢いは衰えておりません。東京のコロナ感染者は5500人超となり、大阪は2400人超で過去最高となっております。未だ収束の兆しが全く見えない状況であります。また現在、大雨が続いておりますが、すでに8月の雨量も観測史上過去最高となっております。大阪においては、今のところ被害は少ないですが、全国では水害の被害も多発しており、非常に厳しい状況となっております。

世の中の様子でいえば、大阪市内を歩くことが多い

のですが、緊急事態宣言中とはいえ、今回は少し様子が違うように感じます。特に飲食店は要請を無視して、お酒の提供を行っている店もありました。酒類提供をしていない飲食店舗に閑古鳥がなき、自粛要請に従わず酒類提供を行っている隣の飲食店舗に長蛇の列という、不思議かつ不公平を感じざるを得ない光景が広がっております。また、先日久しぶりに地下鉄に乗りますと、駅の構内がとても殺風景でした。何故かと申しますと、駅の壁面の看板がほとんどなくなってしまいました。これは乗降客数の減少によるもので、広告を出す意味がないということです。駅は地下の坑道のような風景でありました。世の中は大きな変化を強いられていることを肌で感じる今日この頃であります。

さて、今年度の箕面ロータリークラブのテーマは「変わらないもの。変えてはいけないもの」であります。そこにスポットをあて、この例会の時間は変えてはいけないもの、普遍的なものとして、そこに思いを馳せる時間として頂きたいと考えております。箕面ロータリークラブの歩み、そして例会そのものは変えてはいけないものだと思っております。状況は非常に厳しく、見通しも全く立ってはおりませんが、皆さんと実際にお目にかかって集まれる日を夢見て、その希望を捨てずに、今は耐え忍びましょう。必ず皆さんとお会いできる日を設けようと思っております。

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

## ◆幹事報告◆

山本 貴雄

本日は初めての試みにも関わらず、このように沢山の方にご参加いただき、ありがとうございます。またガバナー補佐、ガバナー補佐エレクト、本日はどうぞよろしく願いいたします。

## ・8月の例会について

8月26日 Zoom 例会

→緊急事態宣言中は Zoom 例会といたしますが、感染対策をしっかりと行い、出来る限り例会場を使ったりリアル開催をしていきたいと考えております。

## ・令和3年度箕面市成人祭中止に伴う「フォトスポットの寄贈、設置」の延期について

→今年度の補助金事業でありました8/14の成人祭に「フォトスポットの寄贈、設置」でありましたが、緊急事態宣言が発出されましたので中止となりました。フォトスポットは成人祭使用ではなく、あらゆる機会で使用していただけるようなデザインになっておりますので、箕面市からは今後様々なイベントにおいて、このパネルを活用していくとのお言葉を頂いております。

## ◆延原ガバナー補佐 ご挨拶◆

昨年度は辻川ガバナー補佐の隣で、エレクトとして伺いました。それはちょうど1年前の今頃であったと思います。その時もお食事はなしで例会となり、協議会を開催していただきました。本来は年二回で、今頃の時期と2月、3月にもう一度（各クラブの中間報告、そして結果を伺いに）訪問させていただく事になっております。しかし緊急事態宣言が出たために、箕面ロータリークラブには伺うことが出来ませんでした。ですので、本日は非常に楽しみにしておりましたが、昨日の大雨の影響もあり、対面による懇談会から Zoom 懇談会に変更となりました。ただ初めての Zoom 例会開催に私どもが臨席させて頂いたという事は、非常に光栄に思いますし、この Zoom 例会で、皆さんの顔が映ったときに懐かしそうに手を振りあっている様子を拝見しますと、それだけでこのクラブの雰囲気がいじみ出てくるような気がいたしましてよかったなあという風思っております。今日はよろしく願いいたします。

## ◆クラブ協議会◆

## プログラム委員長

木村 知也

コロナ禍の現在、プログラムを作りましても、その翌週には予定が変わり休会となり、プログラムが組めない状況となっております。来週から例会は Zoom で開催していくことになっておりますが、卓話担当委員のネット環境が整っておらず、Zoom 例会に参加できないという問題があります。また、今年度のプログラムは、多くの行事が中止になるかと思えます。会長、幹事とご相談していきながら進めていきたいと考えております。対面での例会を望まれている方も多いので、まだ見通しはたっておりませんが開催できればと思います。笑顔で楽しい例会にしていきたいと思いません。

## 出席向上委員長

林 たかみ

現在、出席向上といっても、例会そのものが出来ない状況でありますので難しいのですが、その中で、今回初めて Zoom 例会を開催いたしました。皆様も結構できそうだなという印象をお持ちだと思います。コロナ禍になって改めて例会に出席するし、そこで顔を合わせる事の大切さを実感しました。少し前までは、時代に合わせて変わっていかなければ、という風潮が強かったと思うのですが、それを立ち止まって考えなおす機会になったのではないかと思います。例会を開催することが出来ない中、ネット環境を整えて Zoom 例会を開催するというのが、まずは第一の方法だと思います。出来れば会場とネットの両方を使用するハイブリッド方式が一番いいのではないかと思います。今年度は若い会長と幹事なのでお任せし、協力することはして、皆さんが参加できるように進めていきたいと思えます。ネット環境を整えるにも予算が必要となつてまいりますので、今年度は予算を確保して進めていけたらと考えております。

出席率をあげるためには、例会のプログラムの内容を充実したものにしていきたいと思えます。例えば、親睦会はできない状況ですが、その代わりにネットで LIVE コンサートなどエンターテイメント的なものを親睦会代わりに開催し、皆さんに出席していただく等、そういうことが出来たらいいなと考えております。

## 親睦活動委員長

高橋 太朗

早速ですが、来週予定しておりました納涼例会が中止となりました。今年度もコロナウィルスの影響を大きく受けた上での、制限のある活動になる見通しとなっております。今年度のクラブ現況に行事予定など書

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

いておりますが、この通りには行かないことが多くなると思われます。皆さんと集まる機会が少ない中で、どれだけのことが出来るのか分かりませんが、その機会があれば、一回一回を大切に、参加される方が満足していただけるような親睦会の設営を心掛けたいと思っております。また、それが出席向上に繋がるようなものであれば、なお良いと思っておりますので、企画段階からご相談をさせて頂きたいと思っております。

今年度の工夫としましては、例会時の受付業務は親睦活動委員会で努めさせて頂いておりますが、その際には皆様と少しでも会話が出来るような機会を作り、そこでも親睦を図れるようにしていきたいと考えております。どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。

### 会員増強選考委員長

木村 貞基

現在は、リアルで例会が出来ない状況ではありますが、これに甘んじているわけにはいきません。これからはリアルとオンラインを併用していくハイブリッド開催は避けられないことでもあります。そこで私は二つのことを考えております。

一つ目は受けるステージを作るという事です。オンラインだからこそ出来ることがあると思っております。イベントを開催するにしても、リアルだと非常に手間がかかりますが、オンライン開催であれば、比較的簡単にイベントを開催することが出来ます。まずは受信力を強めること、ステージを作っていくことが大切です。やりたかったことをオンラインにて、どんどんやっていく、これが会員増強に繋がる近道であると思っております。

二つ目は参加する力という事です。様々な積極的に参加していくことが必要になっていくと思っております。J C、Y E Gなどはオンラインで様々なイベントを企画されております。その様な団体が作っているステージにロータリアンも参加していく。リアルでしたら参加しにくかったイベントでも、オンラインでしたら参加がしやすいという事も言えます。コロナ禍での、このような時代だから成せた事と言えるかと思っております。積極的に参加をして、送信力を増強することが必要であると思っております。また、J C、Y E Gなどの団体とイベントを共催していくことも、オンラインであれば比較的容易にできると思っておりますので、オンラインで一緒に作り上げていくことも、増強に繋がるのではないかと思います。さらに、そのイベントが終わりましたら、オンラインで簡単な懇親会が出来ないかと考えております。今後、浦会長、山本幹事と考えていきたいと思っております。 コロナ禍でのオンラインを悲観視せずに、如何にこの状況を有効に使っていくかを考えながら、増強に力を入れていきたいと思っております。

### 情報規定研修委員長

黄堂 泰昌

情報規定研修の立場から、地区の方針に沿った新しいロータリークラブの在り方を、私自身も勉強しながら、皆様へ伝達してまいりたいと思っております。ロータリークラブは、この数年間に渡って変革を続けており、ルールも変わってきております。我々のクラブにはベテラン会員から、入会間もない新しい会員の方がおられますので、昔ながらの古い慣習と新しいルールが混在している状況です。また、ロータリークラブとしてのルール、定款、細則も改定しておりますし、ロータリークラブそのものはどういう組織なのかということをご皆さんによく理解していただく事が非常に大切だと、常々思っております。

私は入会しまして17年目をすぎたところですが、ロータリークラブを熟知しているかいうと、まだまだ分からないこともございます。各組織、各委員会、財団、米山への奉仕につきましても、ロータリークラブをよく理解してこそ、皆さんが進んで奉仕をしていただけるものだと思っておりますので、新しい地区の方針と共にロータリークラブの情報、並びに規定をよく理解したうえで、皆さんに伝達する機会を例会の中にも設けていきたいと考えております。

また、前情報規定研修委員長は例会以外の場で、IGMを年に数回開催しておられました。今年度においても、ベテランの方と若い方との交流の場を出来るだけ多く設けたいと思っております。そうすることにより親睦が深まり、それが会員増強にも繋がるのではないかと考えております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

### ロータリー財団委員長

片山 秀樹

ロータリー財団委員長として、ロータリー財団とは何かと考えますと、しっかり皆さんから寄付を集めて、その財団の資金を活用しながら財団の補助金事業を企画し実行すること、と理解しております。

会員の皆さんにはまず、ロータリー財団とは何かという事を理解していただく必要があると思っておりますので、11月の例会にて卓話を行い、理解を深めて頂こうと思っております。二つ目に財団への寄付についてです。目標を定めている財団寄付を皆様からしっかり集めるようにしたいのですが、現在は例会数が少ない状況です。例会数が少ない中でも、年度末には目標額を達成できるように、そして皆様の協力を得ることが出来るように、ご説明してまいりたいと考えております。三つ目は地区補助金事業についてです。幹事からご説明がありました通り、今年度の地区補助金事業として、箕面市成人祭の会場においてフォトスポットを寄贈・設置するという事で申請しておりましたが、無事に承



認され、近日入金予定です。8月に予定されていた令和2年度成人祭は中止となりましたが、来年1月には令和3年度成人祭が行われる予定ですので、そちらでご活用いただけます。フォトパネルは何回も利用できますので、ロータリークラブの広報としても大いに役立つのではないかと思います。また、財団活動は年度ごとに活動しております。次年度の補助金事業の申請は今年度に行いますので、芝野エレクトとご相談をしながら、次年度の事業について考えていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

### 国際奉仕委員長

西宮 富夫

最近思いますのは、23-34 決議の最後に部分に「クラブの活動は会員がロータリーの目的を理解する練習台であり、最終的には会員個人がロータリーの目的を実践すること」と書かれている点です。23-34 決議（社会奉仕に関する声明）は、1923年当時の事情を踏まえたものですが、現在まで100年余りロータリーの基本理念として受け継がれてきました。

2019年「多様性、公平さ、開放性に関する声明」がRI理事会で採択されましたが、ロータリー活動全体が進化している証と感じます。つまり、ロータリアンが23-34 決議の最終部分に沿ってロータリー活動を活発化させると、クラブも多様で開放的な組織にならざるを得ません。23-34 決議の最終部分が底の方で2019年の声明につながっていると考えます。

昨年度（2021年3月）私にRIの「Rotary DEI Task Force」からアンケートが参りました。開放性、多様性、公平さについて地区及びクラブの実態について報告せよという内容でした。すぐに対応しましたが、昨年度から研究を続けております「RIは寄付の多様性を推進すべき」という点もアンケートの中で進言しました。寄付は社会奉仕活動ですので、寄付の多様性を高めますと世界に向けての社会奉仕も可能だからです。現在のロータリー財団のクラブ活動（＝会員の練習用）に補助金を提供する仕組みでは、最も使いやすい地区補助金が寄付全体の1/4なので、これははっきりしますが、3/4はどこに行ったか分からないままです。

私は昨年度より特定目的にのみ寄付を使用する（寄付効率100%）国際団体に「ロータリアン+会員名」で寄付する方法を研究しています。これがもう少し固まりましたら、私の知っている世界や日本のクラブ、ロータリアンの皆様に呼びかけたいと考えております。

### 米山奨学会委員長

尾崎 夏樹

今年度も、昨年度から引き続き、イアン・パンニャーさんを米山奨学生として受け入れます。コロナ禍の影響を考慮しながら、親睦の機会を多く設けられたらと思います。また、米山奨学会への寄付につきましてはご協力をお願いし、寄付目標の達成を目指します。

### 会場監督 S. A. A

庄司 修二

今はコロナ禍により休会となっておりますが、例会が開催されれば、皆様には奉仕金を含め、お願いをしながら頑張っていきたいと思っております。また、今年度については80万円の奉仕金の目標額となっておりますので、一人当たり3万円程となっております。少ない例会の中でのお願いとなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 会計

片山 秀樹

会計で一番重要なことは、正確に処理をして、それを報告することだと思います。昨年度は多くの例会が中止になりましたことから、予算が余ってくるということで、会費の減額をして、会員の皆様に還元するという処置を取りました。本年度も状況を見ながら理事会に諮り、会費の減額等の処置をとるようにしたいと思います。ロータリークラブの会計は非常にややこしく、新しい会員には理解が難しいと思っておりますので、追々ご説明させて頂いて、奉仕会計ニコニコにおいてもご理解いただけるようにしたいと考えております。以上のように、年度を通して予算、決算と進めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



#### 4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか    2 みんなに公平か    3 好意と友情を深めるか    4 みんなのためになるかどうか

## ◆延原ガバナー補佐より講評◆

クラブ協議会を終えまして、私の感想を述べさせていただきます。何のためにこの様なお時間を頂戴して協議会を開いているかと申しますと、ガバナー公式訪問の時に、このクラブにはどのような特徴があって、どのような活動をしているかということ、前もってガバナーにご報告申し上げるのが目的でございます。その意味におきましては、この例会が始まる前に会長、幹事をはじめ何名かの会員の方々と懇談会をさせていただきましたが、その中で分かったことは、一言で申しますと、アットホームな雰囲気クラブであろうという事です。ご年配の方と若い方との調和が取れているクラブなのだと思います。ご年配の方はその方の目線でのクラブのとらえ方、お若い方はお若い方なりに今まで経験されたことをロータリークラブに活かそうという明確な意思を持ってお話になっておられました。その両方が協議会において抵抗なくお話になれるということは、そもそもアットホームな雰囲気クラブであろうと思いますので、まずはご報告申し上げるつもりでございます。さて、地区からのお願いをいくつか申し上げます。一つ目は会員基盤の強化を図ってほしいということです。その意味におきましては、早速9月に1名入会される他、3名くらいの方にお声を掛けていらっしゃることで、積極的に行動されていることがよく分かります。この事もご報告申し上げます。二つ目のお願いは寄付についてですが、このクラブはポリオ、ロータリー財団、米山奨学会全てにおいて目標をたてられて、例年ほぼクリアされておりますので、その旨ご報告申し上げます。箕面ロータリークラブは地域密着型であると思うのですが、今年度の地区補助金事業「箕面市成人祭会場におけるフォトスポットの設置」は、非常に面白い試みだと思います。来年1月の成人祭が開催され、寄贈することが出来ましたら、是非地区のHPやロータリーショーケースに投稿していただきたいと思っております。ガバナーがお越しの際には、是非お話になってください。地域密着型クラブのアピールになると思っております。

本日は初めてzoom例会を開催されたわけですが、皆様が大変前向きにお考えになっておられることが素晴らしいと感じました。このことをご報告申し上げます。私どものクラブのほうにも取り入れることができればと思います。

本日、ガバナー補佐という形で訪問させていただき、沢山の方にお集まりいただき本当にありがとうございます。できる限り正確に、ポイントをついて、ガバナーにはご報告させていただきたいと思っております。最後に

お願いがございます。2週間後には吉川ガバナーの公式訪問がございますので、温かく敬意をもってお迎えくださいますよう、お願い申し上げます。



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか